

令和7年度の取り組み

当初、山岳協会として登山を主体として出発した当協会も、夏はスポーツクライミング、冬は山岳スキー（以下スキーモという）と2つのオリンピック競技を抱える競技団体へと変貌している。

一昨年度、昨年度と赤字であった。昨年度は、一昨年度より少額ではあったが、まだまだ努力が足りないという事を思い知らされた。健全な財政状況に戻すにはかなりの努力を要し、体制、組織構造を抜本的に変えていく必要がある。これには永い年月を要するかも知れない。協会全体としての体質にも原因がある。登山部門をはじめ、SC及び山岳スキーの競技サポート体制の将来的な再建計画を策定し、実施していかなくてはならない。国際的な動向や変化は非常に早い。従って長期計画を立てても2,3年ごとには、見直すことが必要になるので適時対応していく。

そのような中であっても、公益法人として組織のガバナンス機能の強化・コンプライアンス法令遵守など、内に外に大きな責任と安定性を求められている。この現状を鑑みても人材の確保や教育訓練、さらに資金の確保など一筋縄ではいかない問題が山積みしている。我々は社会的責任を意識しながらこのような難問を克服していかなくてはならない。

一朝一夕には出来ないが、下記の項目において、少しずつでも前進していく。

1. 協会としての体制について

根本の問題である財政再建に特に力を入れていく。ガバナンスが効き、コンプライアンスの遵守ができる堅固な組織体制の確立、広報宣伝体制、資金確保、財務体質の根本的解決をする事。SDGsの推進は世の趨勢であり簡単にはいかないが、人材の育成、協会のスリム化の検討が必要である。以前策定した中長期計画の見直しと、確固とした中長期計画の再立案が必須である。

組織の基盤である各都道府県山岳連盟・協会との連携、競技の安定運営のための補助金等交付元の上部団体との連携、スポンサー獲得/マーケティングの重視、底辺を支えるITシステムの確立が必要である。

2. 競技力向上

- (1) スポーツクライミングは、2028年のLAを目指し、戦略的に活動する。
パラ競技についても、考慮する。
2026年のアジア大会も視野に入れる。
- (2) スキーモは、2026年コルチナダンペッチオ冬季オリンピック上位入賞を目指すべく活動する。

国スポ大会は見直しが全国的に話題になっているが、各種国内大会の効果的・効率的なマネジメントを確立する。アンチドーピング（以下ADという）体制を強化する。

3. 山岳

(1) 夏山リーダー、指導員/コーチの育成、普及委員会/全日大会、安全登山研修、レスキュー研修を継続して行い、大きな社会問題である遭難対策につなげる。

(2) 海外登山奨励、ウインタークライマーズミートなどアルパインクライミングの振興に努める。BMC の代わりにスコットランドの山岳会の研修・講習会が再開され、クライマーの経験・質を高めていきたい。

4. 各国際連盟との連携に努め、日本のグローバルでの地位向上を図る。

IFSC, ISMF, UIAA, UAAA 等との連携を密にする。

5. 国内の諸団体との連携を深める。

JSC, JSPO, JOC や、山岳 3 団体等との関係も重要である。

6. 地球規模の問題として、環境問題、気候変動についての協力、研究を行う。

7. 保険に関して

登山、競技に関わらず保険加入は必須である。講習会、研修会時の事故担保として保険加入を強く勧めていく。特に山岳共済会の加入者を増加させる。

II 事業内容

令和7年度の事業の一環として以下の日程が設定されている。

監事監査 期末監査 2025年 5月下旬ごろ
令和6年度総会 2025年 6月22日(日)

2025年4月1日～2026年3月31日までの令和7年度事業予定について記す。

1. 安全登山普及事業

(1) 青少年育成事業(普及委員会)

ア) 高体連登山専門部関連

- ① 第69回全国高等学校登山大会の開催 令和7(2025)年度 中国総体2025
8月5日(火)開会式、安芸太田町加計体育館
8月5日(金)～ 8日(日) 登山行動
8月9日(土)閉会式、山域は恐羅漢山、十方山、深入山
- ② 第16回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会の開催
12月中の予定 埼玉県加須市市民体育館

イ) ジュニア登山教室

- ① 「少年少女登山教室」の開催(委託実施)
- ② 「登山普及情報交換会」開催 2026年2月7日(土) 場所未定

(2) 安全登山の啓発事業(普及、遭対、国際、登山医科学の各委員会)

普及委員会

ア) 安全登山指導者研修会(国立登山研修所他共催)

- ① 東部地区(岐阜県) 10月11日(土)～13日(月)
- ② 西部地区(宮崎県) 11月 7日(金)～ 9日(日)

イ) 安全登山事業(国立登山研修所と共催)

- ③ 高等学校等登山指導者夏山基礎講習会
7月25日(金)～26日(日) 愛知県民の森モリトピア・周辺山城
オンラインセミナー 年3回(5月上旬公表予定)
- ④ 安全登山サテライトセミナー
会場未定: 6月21日(土)
大阪会場: 12月予定
サテライトセミナーオンライン
年6回予定(5月上旬公表予定)

Plus(ウェブ会議システムとのハイブリッド)

8月の予定、11月16日(日)

⑤ 登山リーダー夏山研修会

8月17日(日)～22日(金) 国立登山研修所及び劔岳周辺

⑥ 山岳遭難救助研修会

10月6日(月)～9日(木)

山野スポーツセンター・国立登山研修所及び周辺山域

⑦ 積雪期登山基礎講習会

2026年 1月30日(金)～2月1日(日)

山野スポーツセンター・国立登山研修所及び周辺山域

⑧ 登山リーダー冬山研修会

2026年 2月22日(日)～27日(金)

国立登山研修所及び周辺山域

ウ) 第61回全日本登山大会

10月25日(金)～27日(月) 兵庫県

エ) 第9回「山の日」全国大会 福井2025

8月10日(日)～11日(月)

オ) 各種登山・山岳スポーツ大会・山岳文化講演会等の後援

カ) 日本山岳文化学会等と連携しながら、山岳文化の普及・振興を図る

遭難対策委員会

ア) 山岳レスキュー講習会

① 無雪期(富山県・国立登山研修所) 及び山野スポーツセンター

6月20日(金)～22日(日)

② 積雪期(群馬県・土合山の家) 2026年1月ごろ

イ) 地方講習会講師派遣事業

地方(各都道府県)で開催される講習会へ、要請に応じて講師を派遣する。

ウ) 研修及び研究会

① 常任委員研修会 日程、場所調整中

② 全国遭難対策委員長会議・研修会

7月5日(土)～6日(日) 開催場所: BumB 東京スポーツ文化会館

③ 全国山岳遭難対策協議会

7月11日(金) 開催場所: 文部科学省講堂

エ) 遭難事故防止のための研究・指導及び実態調査

・減遭難キャンペーン「ストップ・ザ1000」の啓発活動

オ) 令和7年度全国山岳遭難対策協議会の共催(スポーツ庁他)

カ) 山岳保険加入者の事故調査（報告書作成／HP掲載）

キ) 遭難事故の調査研究

- ・遭難事故に関する調査研究（委託事業）
- ・遭難事故の科学的分析

ク) 遭難事故科学的研究・他支援

- ・日本雪崩捜索救助協議会（AvSAR 協議会）参画

ケ) 遭対委員会 年間オンライン等

コ) 「国内旅行傷害保険包括契約」実施

国際・アルパインクライミング委員会

ア) 令和7年度海外登山技術研究会

日程：6月14日（土）、15日（日） 場所：埼玉県大宮・ソニックシティ

イ) 助成事業 国内ウインタークライマーズ・ミート 2026年2月を予定

登山医科学委員会

ア) 山での応急手当講習会

- ① 神戸開催（兵庫県・神戸登山研修所）

6月28日（土）～29日（日）

- ② 秦野開催（神奈川県・神奈川県立山岳スポーツセンター）

11月2日（日）～3日（月）

(3) 登山指導者育成事業(指導委員会)

ア) 指導員研修会

- ① 全国指導委員長会議

5月31日（土）～6月1日（日） 現地とオンラインのハイブリッド開催
埼玉県立県民活動センター 登山指導委員会、SC指導委員会共同で実施

- ② 登攀技術研修会（A級主任検定員・コーチ2養成講習会）

2025年11月予定

- ③ 氷雪技術研修会（A級主任検定員・コーチ2養成講習会）

2026年1月31日（土）～2月1日（日）

- ④ 氷雪技術研修会（A級主任検定員・コーチ2養成講習会）

- ⑤ 2026年3月14日（土）～3月15日（日）谷川岳（土合山の家）

- ⑥ 上級夏山リーダー講師養成

6月くらいから講師養成講習会を東部、西部地区の2か所で開催

- ⑦ 上級夏山リーダー検定会 未定

イ) インターハイ 技術顧問参加 8月4日(月)～9日(土)

ウ) 委員会等

① 指導常任委員会 年間オンライン会議

② 夏山リーダー分科会 年間オンライン会議

エ) 国立登山研修所事業への協力

2. スポーツクライミング事業

(1) 競技会運営事業(競技委員会)

ア) 第13回リードユース日本選手権多久大会(LYC2025)

[開催地] 九州クライミングベース SAGA、[開催時期] 2025年5月17日～18日

イ) 第11回ボルダージュース日本選手権倉吉大会(BYC2025)

[開催地] 鳥取県立倉吉体育文化会館、[開催時期] 2025年5月31日～6月1日

ウ) 第5回ボルダーフューチャーカップ(BFC2025)

[開催地] 検討中、[開催時期] 2025年9月ごろ

エ) 第4回リードフューチャーカップ(LFC2025)

[開催地] 検討中、[開催時期] 2025年10月ごろ

オ) 第15回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会(HSC2025)

[開催地] 加須市民体育館(埼玉県加須市)、[開催時期] 2025年12月ごろ

カ) ボルダージャパンカップ2026(BJC2026)

[開催地] 検討中 [開催時期] 2026年1月～2月ごろ

キ) スピードジャパンカップ2026(SJC2026) / 第6回スピードユース日本選手権(SYC2026)

[開催地] 検討中、[開催時期] 2026年2月～3月ごろ

ク) リードジャパンカップ2026(LJC2026)

[開催地] DMG MORI アリーナ(三重県伊賀市)、[開催時期] 2026年2月～3月ごろ

(2) 国体スポーツクライミング競技の主管(国スポ委員会)

第79回国民スポーツ大会(滋賀県)

① 第1回基準会議 5月24日(土) 13:00～ 滋賀県竜王町運動公園会議室

② 組み合わせ抽選会 場所、JSOSビル 9月～(日時未定)

③ 各ブロック別大会(6月～8月 全国9ブロック)

都道府県予選大会の開催(委託実施)

④ リハーサル大会 6月7日(土)～8日(日)

竜王町総合運動公園 スポーツクライミング特設会場

⑤ 本大会スポーツクライミング競技10月3日(金)～5日(日)

(10月2日監督会議:開催予定)

(3) 強化事業(強化委員会)

ア) オリンピック強化選手の選考

イ) 日本代表選手選考・派遣

ウ) 代表選手の派遣

IFSC クライミング WC 4月～9月 世界各地

- | | | |
|---|---------------------|-----------------|
| ① | ワールドカップ上海大会 | 中国・上海 |
| | 4月19日～4月21日 | |
| ② | ワールドカップ呉江大会 | 中国・呉江 |
| | 4月26日～4月28日 | |
| ③ | ワールドカップインドネシア大会 | インドネシア |
| | 5月3日～5月5日 | |
| ④ | ワールドカップクリチバ大会 | ブラジル・クリチバ |
| | 5月16日～5月18日 | |
| ⑤ | ワールドカップソルトレイクシティー大会 | アメリカ・ソルトレイクシティー |
| | 5月23日～5月25日 | |
| ⑥ | ワールドカップコロラド大会 | アメリカ・コロラド |
| | 5月31日～6月1日 | |
| ⑦ | ワールドカッププラハ大会 | チェコ・プラハ |
| | 6月6日～6月9日 | |
| ⑧ | ワールドカップベルン大会 | スイス・ベルン |
| | 6月13日～6月16日 | |
| ⑨ | ワールドカップインスブルック大会 | オーストリア・インスブルック |
| | 6月25日～6月29日 | |
| ⑩ | ワールドカップクラコフ大会 | ポーランド・クラコフ |
| | 7月5日～7月6日 | |
| ⑪ | ワールドカップシャモニー | フランス・シャモニー |
| | 7月11日～7月13日 | |
| ⑫ | ワールドカップマドリッド大会 | スペイン・マドリッド |
| | 7月18日～7月20日 | |
| ⑬ | ワールドカップクラーゲンフルト大会 | オーストリア・クラーゲンフルト |
| | 7月26日～7月27日 | |
| ⑭ | ワールドカップコペル大会 | スロベニア・コペル |
| | 9月5日～9月7日 | |
| ⑮ | 世界選手権ソウル大会 | 韓国・ソウル |

9月21日～9月28日

⑯ 世界ユース選手権大会 フィンランド・ヘルシンキ

7月27日～8月3日

⑰ アジアユース選手権大会 中国

8月12日～8月17日

エ) 代表選手強化合宿(海外・国内)

オ) ユース選手・指導者講習会の開催

カ) ジュニア・クライマー実態調査に基づく選手、指導者、保護者への
スポーツ障害予防啓発(医科学支援)

キ) 複合種目(リード、ボルダー)及びスピード種目への取り組み

ク) 選手の心身面の強化に対する取り組み

ケ) 競技者育成プログラムの作成と関連事業の検討

(4) 審判・ルートセッター事業(技術委員会)

各種競技会・国体スポーツクライミング競技への支援協力 ルートセッター派遣、ブロック別研修会講師派遣

ア) 審判・セッター会議の開催

イ) 全国ルートセッター研修会

ウ) ブロック研修会等に合わせたの更新研修会 年数回

(5) SC コーチ養成講習会(SC 指導委員会)

日程等については登山部のコーチ養成と歩調を合わせる。

① 全国指導委員長会議

5月31日(土)・6月1日(日) 埼玉県立県民活動センター

② コーチ養成講習会 主催；SC指導委員会(JSPPO委託開催)

③ 主任検定員養成講習会(コーチ養成講習会と同時開催)

東日本、西日本2か所で検討中

④ コーチ更新研修(コーチ養成講習会と同時開催)

東日本、西日本2か所で検討中

⑤ コーチ3養成講習会(共通科目4月1日申込締切)

(6) スポーツクライミング医・科学事業(SC 医科学委員会)

ア) 各種大会における救護スタッフ派遣および救護活動

イ) 代表選手メディカルチェック事業

ウ) 外傷・障害予防のための啓発事業

① 登録選手向け医科学講習会(選手スタッフ合同ミーティング)2回

② クライミング医科学講習会

エ) 調査、研究事業

① 障害実態調査

② 学会活動（日本臨床スポーツ医学会ほか）

オ）JSP0 公認スポーツドクター、アスレチックトレーナー養成支援（受講希望者の推薦及び代表者協議会への出席）

(7) ドーピング防止事業(アンチドーピング委員会)

ア) ドーピング防止思想の普及・啓発・教育など

① ドーピング検査実施（JADA に委託）

② ドーピング防止講習会開催

③ TUE（治療目的使用に関わる除外措置）申請の支援

④ ADAMS（アンチ・ドーピング管理システム）登録選手への管理支援

(8) 倫理研修会事業(ガバナンス委員会、アンチ・ドーピング委員会)

AD・倫理研修会の開催（随時）

(9) ユニバーシアード関連(全日本大学スポーツライミング協会)

JOC 主催委員会等出席

(10) 国際連盟役員獲得支援事業

スポーツ庁の委託を受けて実施する。

3. 登山関連競技会運営事業

(1) 山岳スキー(スキーモ委員会)

ISMF(国際山岳スキー連盟)世界選手権派遣支援 未定

① 国際大会派遣 ワールドカップ スイス

2025年4月4日-4月5日（SKIMO JAPAN 出場未定）

② 国際大会派遣 ワールドカップ ノルウェー

2025年4月10日-4月13日（SKIMO JAPAN 出場未定）

③ 国際大会派遣 ワールドカップ

（2026 ミラノコルティナ Qualification Period より前のワールドカップは未定）

④ 2026 ミラノコルティナ Qualification Period

2025年12月11日 -12月14日

⑤ SKIMO 海外合宿（フランス 2025年11月以降の予定）

⑥ 2026年ミラノ・コルティナダンペッツォオリンピック イタリア

2026年2月19日～2月21日

⑦ 第19回 SKIMO 日本選手権大会（スプリント）未定

⑧ 第19回 SKIMO 日本選手権大会（インディビジュアル）未定

⑨ SKIMO 体験会（SKIMO 日本選手権の開催に合わせる予定）

⑩ SKIMO 国内強化合宿（2025年6月以降、4-5回開催予定）

4. 登山研究調査事業

(1) 国際交流事業(国際・アルパインクライミング委員会)

ア) 国際交流

- ① 訪日する外国登山代表団との交流
- ② UIAA アイスクライミング選手権派遣支援

(2) 登山医・科学支援事業(登山部医科学委員会)

ア) UIAA MedCom

- ① UIAA MedCom Meeting への出席

イ) 支援している医科学的諸事業

- ① JSMM 登山者検診ネットワーク
- ② 夏山リーダー制度、インターハイ支援

ウ) 調査研究事業

- ① 医療支援を視野に入れた学校登山の実態調査

5. 自然保護研究調査事業

ア) 研修及び研究会

- ① 令和7年度自然保護委員総会

6月の定例委員会に併合(リアルおよびWEB利用のhybrid会議)

- ② 全国自然保護委員長および自然保護指導員参加の「第49回山岳自然の集い」リアルおよびWEB利用のhybrid会議&講演会

11月22~24日で開催、会場・エクスクーション地は未定

- ③ 2025年度山岳自然環境研究調査(全国の自然保護委員会事業と共催) 地域・時期は未定

- ④ 自然保護指導員フィールド研修会

6月14日から15日に三つ峠で希少高山植物保護活動に参加する研修会を予定

- ⑤ 第15回自然保護指導員研修会 J MSCA 主催、都岳連主管の自然保護指導員向け机上講習会

オリンピックセンターでのhybrid会議

令和8年1月を予定

イ) 自然保護の啓発

- ① 自然保護指導員制度の推進

- ・全国の自然保護指導員の新規登録・更新作業
- ・JMSCA フレンドへの初期登録サポート

- ② 自然保護広報資料の出版
 - ・自然保護指導員の手引きの更新
- ③ 全国環境月間(6月)の実施
 - 自然公園指導員制度への協力 ・自然公園指導員の推薦、自然公園指導員活動報告まとめ・環境省への提出
- ④ 山岳団体と連携して自然保護委員会活動の推進
 - ・山岳団体自然環境連絡会への参加
 - ・各種環境保護事業の後援と派遣
- ⑤ 日本オリンピック委員会主催「スポーツと環境会議」への参加・協力
- ⑥ 全国山岳自然保護関係活動の集約とHP広報

6. 共益事業

(1) 広報等

- ア) 『登山月報』毎月15日定期発行 第673号(4月号)～第684号(3月号)
- イ) HPのタイムリーな更新 (<http://www.jma-sangaku.or.jp>)

(2) 会議等

- ア) 総会 2025年6月22日(日)
- イ) 理事会 原則として毎月第二木曜日
 - 6月は総会の15日以上前の日
- ウ) 常務理事会 原則として毎月第二火曜日
- エ) 全国理事長会議 2026年2月 初旬頃
- オ) 全国参与会 2025年9月 兵庫県(第61回全日本登山大会開催時)
- カ) (一財)全国山の日協議会(随時)
- ・上部団体 評議員会・理事会・運営委員会への出席
- ・第9回「山の日」記念全国大会 8月11日(月)～12日(日)福井大会

(3) 総務等

- ア) 令和7年度定時総会 2025年6月22日(日)
- イ) 令和7年度役員・会員名簿及び賛助会員名簿の作成・発行
- ウ) 議事録の整備
- エ) 山岳保険のPR(山岳雑誌広告、登山月報広告、マスコミ各社他)
- オ) 組織運営の円滑化のため、事務局体制の強化を行う

(4) 財政等

- ア) 監事監査 期末監査：2026年5月予定(詳細日時未定)
 - 中間監査：11月初旬
- イ) 中間決算と補正予算について 10月頃
- ウ) 2026年度予算案の作成 2026年1月

以 上